

いしかわの子どもたちの学力は？ 学習の様子は？ 今求められる学力って？

(平成18年度「基礎学力調査」結果より)

本県では児童生徒の基礎学力の定着状況を把握し、各学校においての指導法の工夫改善を図るために、平成14年度より「基礎学力調査」を実施しています。その結果を「基礎学力調査」報告書としてまとめましたので、一部を紹介します。

①教科に関する調査の結果から

- ◇基本的な知識や計算などについては、概ね良好である。
- ◆文章や図・表等を理解し、それを基に考える力は十分とはいえない。



例えば、右の問題は、小学校第6学年の算数の問題ですが、正答率は52.8%でした。

小学校6年生においては、式に表された関係をよみ取って図に表すことについてはまだ十分とはいえないという結果でした。

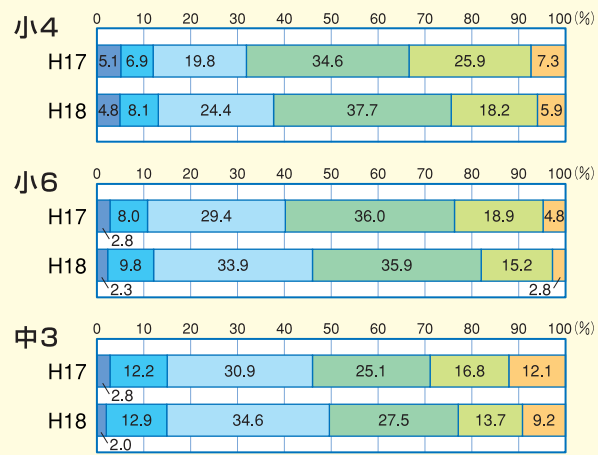
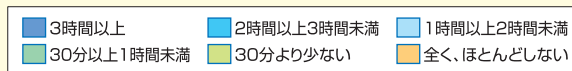
問：たか子さんは●の数を
(6-1)×4の式で求めました。たか子さんの考え方を右の図に線で囲んで表しましょう。



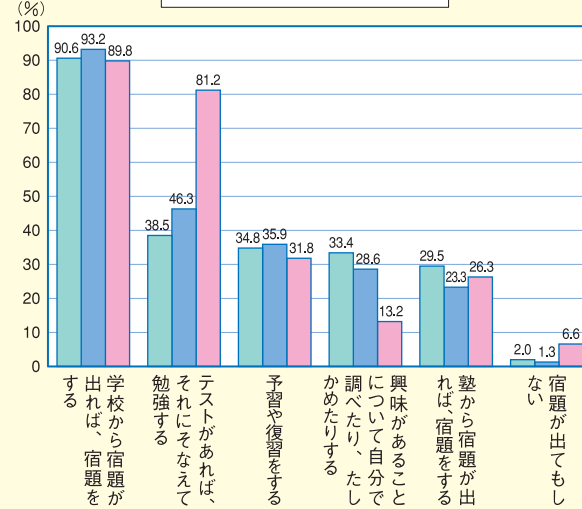
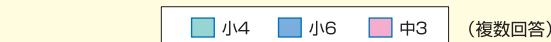
②質問紙調査の結果から

家庭学習について

〈1日の勉強時間〉



〈家庭学習の内容〉



- 1日の勉強時間はどの学年も増加しています。各学校で家庭学習の重要性が見直され、その習慣化に向けた取り組みが進められ、効果を上げていることが伺えます。
- 家庭学習の内容は、宿題が出ればするという回答が圧倒的に多く、予習復習や、興味のあることを調べたりする割合は小学校では3割、中学校では1割です。自主的に学習する手がかりや方法を教え、主体的な学習に結び付けていくことが必要であると考えています。

各学校においては、よりわかりやすく、知的好奇心を喚起する授業を組み立て、基礎的・基本的内容はもちろん、それを生活に生かす応用力を身に付けさせるように努めています。

「基礎学力調査」報告書は、石川県行政サービスセンター（県庁行政庁舎1階）、県教育委員会学校指導課、市町教育委員会で閲覧できます。また、県教育委員会のホームページ（<http://ewebs2.ishikawa-c.ed.jp/kisogakuryoku/index.html>）にも掲載しています。

石川県教育委員会事務局学校指導課 TEL 076-225-1827



教育

たいあつぷ

No.20
2007
2月

発行・編集/石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL (076) 225-1811
<http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/index.htm>



栄養教諭による食に関する指導（金沢市立三馬小学校）



育てた大豆で豆腐作り（珠洲市立みさき小学校）



親子三代料理教室での柿の葉ずし作り（小松市立日末小学校）



食育と家庭の役割

子どもたちが生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることができるようになるためには、一人一人が正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるようにすることが大切です。しかし、子どもを取り巻く社会環境が大きく変化している中で、偏った栄養摂取、生活習慣病の若年化など、食に起因するさまざまな健康課題が現れてきています。

こうした中で、県では今年度、推進地域（珠洲市三崎地区、金沢市三馬地区、小松市日末地区）を指定し「学校・家庭・地域連携食育推進モデル事業」を実施しています。

推進地域では、学校での給食時間や授業等における食に関する指導の他、親子料理教室や野菜、大豆等の栽培、食育講演会等を実施する中で、食の大切さを再認識できるよう、学校と家庭・地域が協力しながら食育を推進していきます。

推進地域だけではなく、学校では今、様々な機会をとらえ食に関する指導を実施していますが、学校で得た知識を実践につなげるには、家庭の協力が不可欠です。毎日繰り返される、料理、配膳、後かたづけ、買い物等を一緒にこなすことが、健全な食生活を実践できる子どもを育てる大きな力となります。